



第36期 2023年7月～2024年6月

富士ワイズメンズクラブは「社会を明るくする運動富士市推進委員会」の加盟団体です

国際会長主題	ウルリック ラウドセン	輝かそう あなたの光を
アジア太平洋地域会長主題	利根川恵子	変革のための光となろう
東日本区理事主題	山田公平	未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自身を育み、真の喜びに出会う！
富士山部部長主題	榎本 博	NEO 富士山部
富士クラブ会長主題	吉澤廣美	心とからだ、元気で奉仕！

会長	吉澤廣美
副会長	仁藤斎浩
書記	高野 亨
会計	小澤嘉道
直前会長	菊池初彦
担当主事	金井 淳

2024年 2月 会報

2月協調月間
TOF・UGP・HTW

巻頭言

心のふるさと

増田 隆

今年の富士山は雪が少なく、冬の富士山らしくないなあと感じていたら、1月22日に雨が降り富士山は本格的な雪化粧、やっと冬の富士山らしくなりホッとしました。このように地元の人たちは四季折々の富士山の様子を、口には出さないが気にしているのです。私たちの日々の暮らしを優しく見守っているのです。日常の挨拶でも「今日は富士山が綺麗だねえー」とか「富士山に傘雲がかかっているから今日は雨ずら」など。富士山から放たれる目に見えない威光は、人間のちっぽけな、苦しみや悲しみ、悩み事を、母の様に包み込んでくれる雄大な富士山を見ると不思議に気持ちが落ち着き、心が癒されます。美しく大きな富士山を見ると、とても感動します。それは現代に生きている私たちだけでなく、昔の人も同じだったでしょう。それは詩歌に読まれ、絵画に描かれ信仰の対象になってきました。「田子の浦に うち出てみれば 白妙の 富士の高嶺に 雪は降りつつ」（山部赤人）ご存じ万葉集の一句です。地元縁のある歌として私たちは当たり前のように小学校の時から詠ってきました。このように富士山を通じていろいろな文化が生まれてきて、現在「世界遺産」として認められました。これからも私たち日本人の心の故郷として、後世に大事に引き継いで行きたいと思えます。

★2024年2月例会★

- と き 2024年2月14日（水）18:30～
 と ころ ホテルグランド富士（0545-61-0360）
 受付 漆畑義彦君
 司会 高野 亨君
- 開会点鐘 吉澤廣美会長
 - 開会の挨拶 仲澤昭夫君
 - ワイズソング・ワイズの信条 司会
 - 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和
 - 会長挨拶 吉澤廣美会長
 - ゲスト・ビジターの紹介 吉澤廣美会長
 - 卓話 「長寿国、日本の食と健康、最新のトピックスを含めて」
小川技術士事務所 所長 小川浩一様
 - 食前の感謝 小澤嘉道君
 - 誕生日
 - 各委員会・書記・会計・事務局報告
 - 出席率・スマイル・CS基金報告
 - 閉会の辞 増田 隆君
 - 閉会点鐘 吉澤廣美会長

例会後 役員会です

2月 Happy Birthday

2月2日 漆畑義彦君

1月例会報告

在籍会員	11名	例会出席者	8名	スマイル基金	28,000円	CS基金	0円
休会会員	名	出席率	73%	スマイル累計	147,000円	CS累計	700円
担当主事	1名	ゲスト	1名	ビジター	20名	総出席者	29名

誌上マイタイム

小澤嘉道

伊豆長岡に住むバイク友達、と言っても一緒に走る仲間は15歳以上年下がほとんど。そんな友達から伊豆ツーリングの誘いがあり出かける事になりました。

1月最後の日曜日、天気予報だとたしか晴れのはずなのにどんよりとした曇り空。どうしましょう！普段より1枚かさね着し覚悟を決め長岡へ向けて家を出ました。集合場所で本日のコース、西伊豆スカイライン→仁科峠→松崎→海岸通り北進→長岡ゴール。伊豆は何処に行くにも峠越えがあり、覚悟はしていたものの西伊豆スカイラインはとても寒く峠の温度計は3度を表示。電熱グローブでも指先が冷たく寒いです。そんな中でも峠ですれちがうライダーは多く、スリルと景色を楽しむバイカーが多く見受けられた。海岸通りに下ると随分暖かく、かなたには三保や富士市が一望出来て心地良いツーリングとなりました。『暖かくなったらまた走ろう！』と約束して帰路につきました。伊豆半島は山、海があり自然に恵まれ景観良く、それぞれの幸がとても美味しく良い所です。能登地震で被災された方々には後ろめたさを感じますが、これからもバイクを楽しむエンジョイマイライフで行こうと思います。

1月合同例会報告

富士・富士宮 1月合同新年例会が富士クラブのホストでホテルグランド富士において、増田君の司会進行で始まりました。鈴木君の開会挨拶、吉澤会長の開会点鐘に続きワイズソング、ワイズの信条、東日本区理事、富士山部長、富士、富士宮クラブ会長の主題の唱和を行いました。続いて、吉澤富士クラブ会長の挨拶、樋口富士宮クラブ会長の挨拶がありました。吉澤会長のゲスト、ビジターのみな様の紹介がありました。今月は富士山部長の公式訪問で榎本富士山部長の挨拶がありました。その後、静岡 YMCA の長谷川副理事長より、来る4月28日に開催される、「特定非営利法人」静岡 YMCA 創立50周年記念式典の案内がありました。

富士クラブは積極的に参加しましょう。今月の卓話者は「NPO 法人森の蘇り」副理事長の難波清芽様です。演題は「SDGs の学び～日本・世界の森林の現状と課題、きらめ樹間伐似ついて～」で、パワーポイントを交え、大変詳しく専門的に、普段私たちがあまり関心のない森の事をわかり易くお話していただき、人間が生きていく上に森の大切さがいかに重要かを身にしみて感じました。難波様、ありがとうございました。

仲澤君の音頭で食前の感謝と、乾杯があり、ささやかな新年会となりました。各クラブのメンバーと今年の抱負などを和気あいあいと語り合い親睦を深めました。今月の誕生日は高野君でした。御殿場クラブの前原ワイズ、下田クラブの長田ワイズも1月で、ハッピーバースデーの歌を歌いお祝いをしました。楽しい時間はすぐに来てしまい、樋口会長の閉会点鐘で1月例会は終了しました。

(富士クラブ 1月例会・役員会出席者 吉澤・高野・岩辺・鈴木・金井・小澤・仲澤・増田)



1月の合同例会の様子



卓話者の難波様と吉澤会長



誕生日 長田君・高野君・前原君・吉澤会長

1月役員会報告

書記 高野 亨

- ① 2024年6月1日(土)・2日(日) 第27回東日本区大会
5月31日～6月2日 2泊3日
会場: とかちプラザホテル・ホテル日航ノースランド帯広
吉澤YS・小澤YS・高野YS・鈴木YS・仲澤YS 参加予定
- ② 2024年2月14日(水) 富士クラブ2月例会に横浜YMCA 佐竹総主事訪問予定

2月の卓話者の紹介

小川浩一様のプロフィール

福岡県遠賀郡生まれ、島根県育ち
島根大学大学院農学研究科卒業後、食品製造会社入社、38年間で研究開発、営業、生産統括からコーポレートガバナンス部門まで経験。

2023年9月食品製造会社を退社後、小川技術士事務所を開業。



富士山 それは私たちの「心のふるさと」

理事通信

No.4

理事メッセージ

(抜粋)

2023-2024 東日本区理事 山田 公平

ワイズ活動前半期が終わって見えてきたもの

12月16日(土)にLT委員会による次期部長、事業主任研修会が行われました。実はこの次期リーダーシップ(2024-25年度)を担う16名の内、10名が今年度からの継続者です。これまでにない役員体制です。研修というより、ワイズ東日本区の課題は何かというような話し合いが中心の研修会となりました。そこでどんな課題があるか見えてきたものを紹介します。

グループからの意見：区は積極的にあれこれと提案してくるが、ワイズは全体的に見ても、ついてきていないのではないか？部の役員はなり手がいない。献金も何に使われているか見えない。クラブの楽しさを各クラブで作れなかったらワイズのいのち(存在する理由)は終わっているのでは？という意見も。区ではユース、ユースと言うが、クラブではそれに反応がない、興味ないの？特にYMCAとの関係が薄いところ、全くないクラブではユースが周りにない。区では”ユース“を強調しているが、正直あまり興味がない、ユースとのかかわり方が分からない、と言う意見を持つ人も多いのでは。

理事の想いⅠ 札幌クラブでは学生YMCAのユースと交流会をしたり、何か一緒にできることを話しあったり……。これがクラブを活性化し、良い方向に元気づけているという意見も。CS活動の充実が大切という意見も。新たな活動を生み出すことが大切なのは。少人数のクラブ会長にとって、部で行った会長会では、「何か変化や一緒に取り組む動きを生み出す可能性を持っている」という意見もあった。それにしても部があまり機能していないという声も強くあるように感じた。部の再編も必要ということが必要かもと感じている。

理事の想いⅡ YMCAのない地域のクラブ。YMCAとの関係が薄いクラブも多くあるように感じます。徐々に関係が弱まっているのかも……。YMCAの主要な目的であるユース育成を生み出すきっかけとして**ユースアクション**は、まさにそのもの。この活動の意味が見えるようになればワイズにとって、多分YMCAにとっても大切な前進となると信じている。

理事の想いⅢ 1年前の**ユースアクション**の第一弾が

昨年終了した。感想や報告を聴いた人たちは、ユースアクションを終えたユース自身がこんな感想や達成感を感じたか新鮮な思いをもったのでは。ユース育成は、YMCAやワイズメンズクラブがするのではなく、ユース自身で考え、実行し、感じるものであるというのがユースエンパワメントの実感であると思う。その意味で、この活動はYMCAとワイズが本気でやるべきものだと感じている。昨年一緒に取り組んだ盛岡YMCA、とちぎYMCA、山梨YMCAや中央大学Yや富士宮高校を支えたワイズの人たちはそう感じたのではないか。これを今年度は2月に募集をして5月に第二弾として始めようとしている。

理事の想いⅣ これからのワイズとYMCAの共通する使命は、ウェルビーイングを醸し出すコミュニティ(Community Well Being)でありたいと思う。実行する過程においてユース自身の中で身に感じる喜びや自信、やる気、喜びといったもの。ユースアクションは、その感覚を体験するきっかけである。昨年のユースアクションの流れの中で、これからの社会でワイズとYMCAと一緒にやり遂げるべき何かが見えてきたように感じた。ユースアクションに参加した若者たちの発表を聞いて、まさにウェルビーイングを生み出す場所(コミュニティ)だと感じた。さらに、これからもっと取り組むべき課題があるとも感じた。

まとめとして

この二つの活動やその意義は、これからのYMCAとワイズの協働プロジェクトとして捉えられないかと感じている。そのためには、専門家の意見を聞き、研修をしていくことも必要になる。まずはこれからの課題に関心のあるYMCAを探し、その活動をワイズが応援するのはどうかと思う。社会に向かってYMCAが良い活動を興し、朝鮮する、そんなYMCAを応援するワイズ、これがYとワイズのパートナーシップの意味だと思う。理事2年目は、そんな可能性を考えつつ前進したいと考えている。これからの活動に関心をもつ人たちは、何か手伝いたい気持ちを持つようになると思う。「ワイズは、そんな活動の手伝いをしています」と言えるようになりたいものである。未来への展望となる。

ユースアクション

ユースアクションとはYMCAとワイズメンズクラブが協働して取り組む事業。

ウェルビーイング

ウェルビーイングとは、全てが満たされた状態かつ継続性のある幸福を意味します。ウェルビーイングが指す「全てが満たされた状態」はウェルビーイングという言葉が初めて使用された世界保健機関(WHO)憲章に示されています。ウェルビーイングは身体の健康状態が良好であるだけでなく、「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、全てが満たされた状態」の幸福を意味しています。ウェルビーイングはSDGsとも密接にかかわっています。「貧困をなくそう」「ジェンダー平等を実現しよう」といった社会的また経済的な問題解消など、SDGsの17の目標にはウェルビーイングの実現に必要な要素

が多数含まれています。特に「すべての人に健康と福祉を」という項目はウェルビーイングと深い関係があると言えます。

富士山部 第2回

役員会・評議会

2月3日(土)午後1時より伊東ワイズメンズクラブのホストで、ダンコーエンボウル2階バンケットルームに於いて第2回富士山部役員会・評議会が開催されました。富士クラブからは吉澤会長、高野書記、小澤会計、そして増田会員増強事業主査の4人が出席しました。尚、仁藤副会長は所用により欠席しました。役員会・評議会に於いての報告並びに議決事項です。

報告事項 (要旨のみ)

1. 第2回東日本区役員会報告です。
 - ・第3号議案
2024-2025年度次期東日本区理事方針・役員案承認の件は継続審議となりました。
 - ・第4号議案
2024-2025年度以降の東日本区大会に実行委員会を設置する件継続審議となりました。
2. 富士山部後期半年報 2024.1.1現在
129名(内 広義会員5名、功労会員2名)

審議事項 (要旨のみ)

- 第1号議案
 - ・富士山部エクステンション委員会の件
独立型のエクステンション委員会の設置は今期で廃止としたい・・・承認
- 第2号議案
 - ・富士山部規則の一部を改正する件
YEOPに代わる後続プログラムiGOが設けられた為、富士山部規則の一部を改正したい・・・承認
- 第3号議案
 - ・2024年～2025年度富士山部事業主査削減の件
現状4名の主査を2名の主査で4部門を担当(会員増強・ユース)・(地域奉仕・国際交流)とする・・・承認
- 第4号議案
 - ・2025年～2026年度富士山部部長(次々期部長)の件
次々期部長は勝又隆吉ワイズ(熱海グローリークラブ)が気持ちよく引き受けていただきました・・・承認



富士山部役員会・評議会に出席の高野書記・吉澤会長
小澤会計

富士山YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳

毎年ブリテンでご案内しておりますが、2月の最終水曜日(今年は2月28日)は「ピンクシャツデー」です。富士山YMCAはじめ全国のYMCAでは、世界的ないじめ反対運動に取り組んでいます。カナダでピンクのシャツを着てきた男の子が「ゲイ」だといじめられたときに、その友人たちがみんなピンクのシャツを着て、いじめをなくしたというエピソードがきっかけです。ピンクシャツデーに合わせて、YMCAのスタッフや会員、子どもたちがピンク色のものを身につけ、いじめ反対をアピールするとともに、一人一人にできることを考えます。皆様も、ご家庭などでピンクのものを身につけ、いじめや社会的排除について考えてみませんか?この時期、日没間際には白く雪化粧した富士山も「ピンク」に染まります。



特定非営利活動法人 静岡 YMCA 報告

令和6年2月度理事会・運営委員会合同会議開催日時、場所 2024年2月7日 静岡YMCA熱海センター
議題1. 静岡YMCA創立記念事業について
・記念式典委員会 青木義美委員長
・総務委員会 勝又隆吉委員長
・記念誌作成委員長 長谷川等委員長
以上が討議され、次回の会議で詳細が決まる予定です。

富士クラブ これからの予定

2024年

3月2日(土)～3日(日)第28回中学生サッカー大会

3月9日(土)～10日(日)東日本区次期クラブ会長研修会

3月13日(水)富士クラブ3月例会・役員会

4月28日(日)静岡YMCA創立50周年記念式典